

ワケネギ「東京小町」の周年栽培体系における生育特性の解明

【研究概要】

ワケネギ「東京小町」は、周年栽培が可能な品種として平成29年2月に品種登録され、生産現場に普及している。一方で、ワケネギ生産者が利用している在来系統や「埼玉県優良系統」との違い、あるいは収穫適期がわかりにくいといった評価にある。そこで、「東京小町」の作型ごとの収量性や収穫適期について、他の系統と比較しながら解明することを目的に試験を実施した。その中で、今年度は下記の3つの成果が得られた。

- (1) 夏植え露地栽培の収穫期は、在来系統と比較して「埼玉優良系統」は早く、「東京小町」は遅かった。上物収量は「埼玉優良系統」で在来系統と同等以上、「東京小町」で在来系統を下回った。
- (2) 秋植え露地栽培の収穫期は、「東京小町」は他の2系統に比べて遅かった。上物本数は「埼玉優良系統」で在来系統と同等以上、「東京小町」で在来系統を下回った。
- (3) 抽苔程度は、在来系統が多く「埼玉優良系統」と「東京小町」は同程度であった。